

Elazzio

SEAT COVER



SUZUKI
ジムニー ノマド

専用シートカバー取付説明書



SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

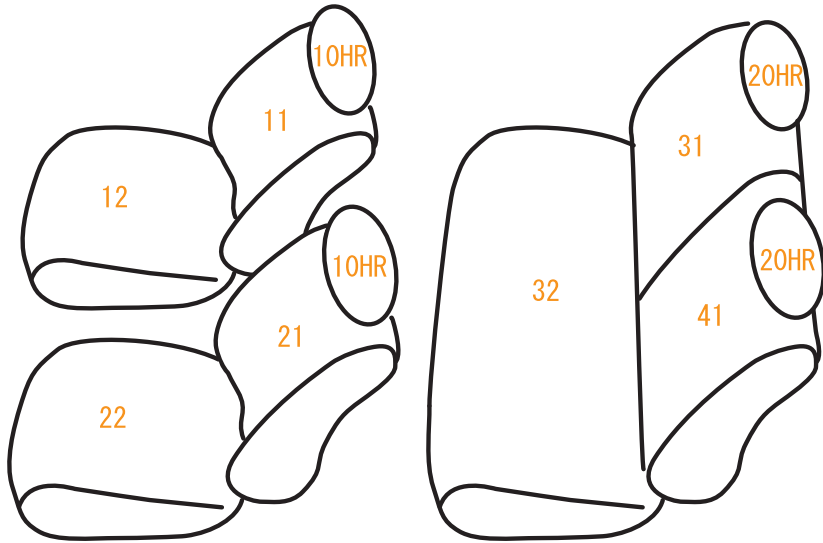
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P～4P
1 列目運転席座面の装着方法	…> 5P～6P
1 列目運転席背もたれの装着方法	…> 7P～8P
2 列目座面の装着方法	…> 9P～12P
2 列目背もたれの装着方法	…> 13P～15P
ヘッドレストの装着方法	…> 16P～17P
完成図	…> 18P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 19P～20P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ (10mm)
- ② クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。

事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。

- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつくなる場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
 - ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
 - シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
 - 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
 - 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
 - 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
 - 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。
- またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。
その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 2 シートを上から見た状態です。
通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。
この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。
SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることになります。
位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

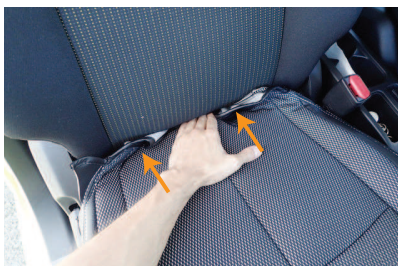
Step 1

1 列目運転席座面の装着方法

1 列目の装着方法の説明には、シート形状が同じジムニーの画像を使用しています。



- 1** シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
背もたれを前に倒すと、生地が入れ込みやすくなります。



- 3** シートの背面から、入れ込んだ生地を引き出します。
カバーの端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 4** カバーの外側面に付いている固定部材を、ヘラ等を使用して、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。
この時、固定部材前後の生地も一緒に入れ込むようにして下さい。
赤の矢印部分は、プラスチックパーツの奥にツメがあるため、隙間が狭くなっています。
このため、隙間が狭い箇所の前後部分から先に生地を入れ込み、最後に隙間の狭い部分を入れ込むと、生地が入れ込みやすくなります。



- 5** 固定部材とその前後の生地を入れ込んだ後の図です。
※内側面に関しては固定がございません。



- 6** カバー両側付け根の小さい生地进行を、シートの軸部分の隙間に入れ込みます。



- 7** カバー前側に付いているベルトを、シート裏から背面側へ通します。この時、スライドレバーや配線の上を通すようにして下さい。



- 10** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も同様に取り付けます。



- 8** 背面に通したベルトと**3番**で引き出した生地が付いているバックルを固定します。詳しい固定方法は**9番**を参照して下さい。



- 9** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。
ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意下さい。

Step 2

1 列目運転席背もたれの装着方法



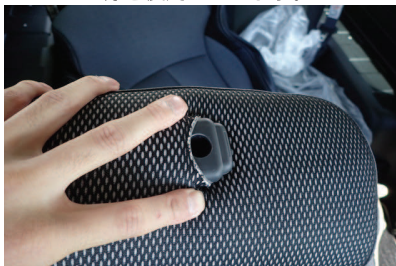
注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。

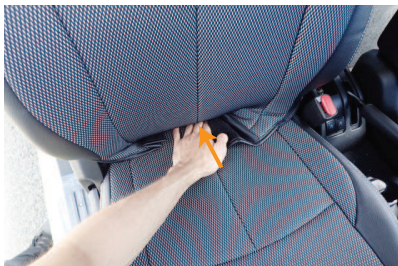
1 列目の装着方法の説明には、シート形状が同じジムニーの画像を使用しています。



- 1** カバー背面のファスナーを開け、シート全体にカバーをかぶせます。



- 4** カバーの加工穴から、ヘッドレストの台座を取り出します。
本革を使用しているカバーは、生地が伸びにくい為、台座を取り出す際に生地が裂ける場合があります。台座に隠れない程の裂け目が入らないように、ご注意ください。



- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれを前に倒すと、生地が入れ込みやすくなります。



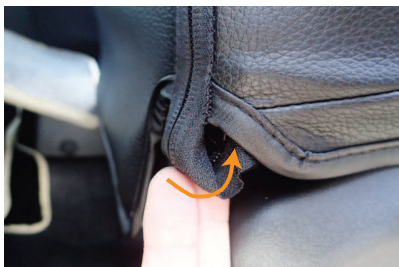
- 5** カバーをシートに馴染ませます。
図のように、①～③の手順で、カバーの上から下に向かってシワを寄せ、寄せた生地を3番と同様に背面から引き出します。



- 3** シートの背面側から、入れ込んだ生地を引き出します。



- 6** 生地を内に寄せながら、ファスナーを閉じます。
ファスナーを閉じる際、ベンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



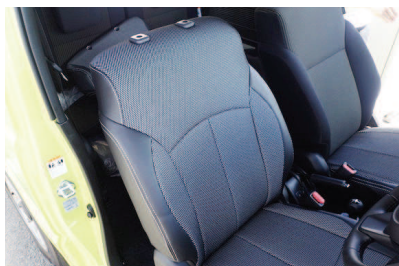
- 7** ファスナーの端をカバーの中に入れ込みます。



- 8** 3番で引き出した生地についているマジックテープと、カバー背面下の生地裏についているマジックテープを固定します。

⚠ 注意 ⚠

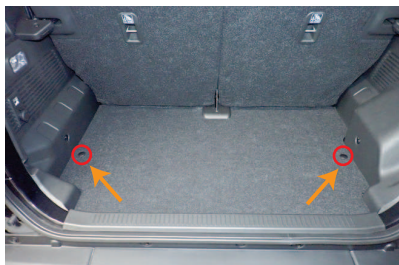
サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



- 9** サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。

Step 3

2列目座面の装着方法



- 1** 2列目の座面は、シートを車体から外して取り付けを行います。
まず、荷室からラゲッジカーペットを外します。ラゲッジカーペットは図の位置にピンで固定されています。



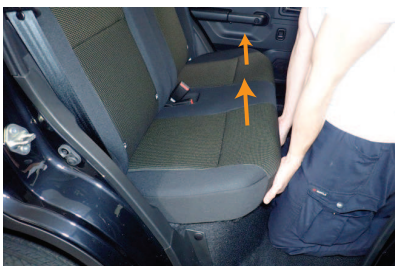
- 2** ピンの両端を掴み、カーペットを真上に持ち上げるとピンが外れます。左右2箇所とも外して下さい。



- 3** ラゲッジカーペットを慎重に車外へ運び出します。



- 4** ラゲッジカーペットを外すと、背もたれ背面の下辺りに、座面を固定しているボルトがあります。
ボルトをソケットレンチ等を使用して外します。ソケットは1.0mmを使用します。
運転席側、助手席側ともに外して下さい。



- 5** シートは図の位置のシート裏でフックで固定されています。
シートの裏に手を入れて、図のように持ち上げます。
運転席側、助手席側と片側ずつ持ち上げてシート裏のフックを外します。



- 6** フックを外してシートを手前に引くと、シートを車体から外すことができます。



- 7** シートを慎重に車外へ運び出します。
作業ができるスペースに置いて下さい。



- 10** シート全体にカバーをかぶせていきます。
シートクッションを指で押しながらカバーをかぶせます。



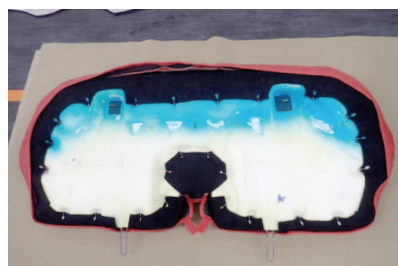
- 8** シートの付け根部分からカバーをかぶせます。
シートのラインに合わせてカバーをかぶせて、端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 11** シート全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



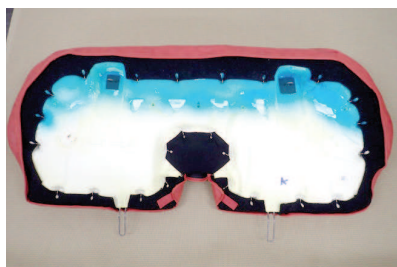
- 9** カバーのラインをシートに合わせます。



- 12** シートを裏返します。



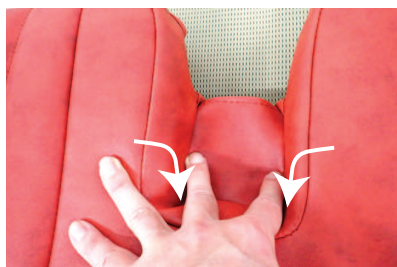
- 13** シート裏側の側面です。
カバーの端に付いているマジックテープを
直接シートに貼り付けて固定します。生地
にシワが寄らないように固定して下さい。



- 16** マジックテープを全て固定すると、シート
の裏側は図のようになります。



- 14** シートの前側です。
カバーの端に付いているマジックテープを
直接シートに貼り付けて固定します。



- 17** シートを表側に戻します。
シートベルトバックル部分の生地を、シー
トの形状に沿わせるように整えます。



- 15** シートの中央の付け根部分です。
カバーの端から飛び出しているマジックテ
ープを、直接シートに貼り付けて固定しま
す。



- 18** カバーのラインを整えます。



- 19** 背もたれにカバーを装着した後、シートを車体に戻します。
背もたれの下へ座面を入れ込みます。カバーの厚みで隙間が狭くなっています。背もたれを斜めに倒すと隙間が広がり、シートが入れ込みやすくなります。



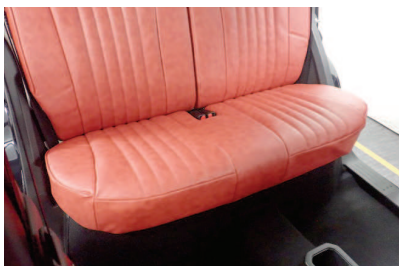
- 20** シート裏のフックの位置に合わせて、シートの真上から押し込みます。
フックが固定できたら、シートを軽く持ち上げて確認して下さい。



- 21** 4番で外したボルトを固定します。
この際、シートのフックとボルト穴がずれている場合は、シートの固定位置を見直して下さい。
20番のフックを固定した後でも、この位置がずれている場合があります。背もたれを前に倒して、シートを入れ込み直すと、位置が合わせやすくなります。



- 22** ラグジカーペットを元に戻します。
2番で外したピンを固定します。



- 23** カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。

Step 4

2列目背もたれの装着方法



- 1 カバーのファスナーを全て開け、シート全体にカバーをかぶせます。



- 4 背もたれの下に、チャイルドシート固定用アンカーがあるので、生地が引っ掛からないように入れ込んで下さい。



- 2 カバーの加工穴から、ヘッドレストの台座を取り出します。



- 5 シートの軸部分の生地を、シートに沿わせるように側面側へ入れ込みます。



- 3 背もたれの下に生地を入れ込みます。



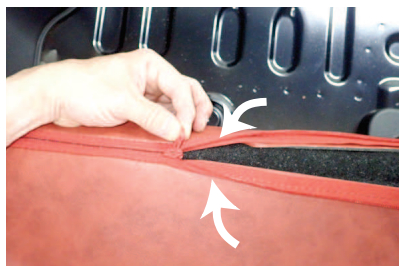
- 6 シートの背面から、入れ込んだ生地を引き出します。



- 7** 外側面のファスナーを、生地を内に寄せながら慎重に閉じます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 8** ファスナーの端をカバーの中に入れ込みます。
助手席側は**17番・18番**の内容をよく確認して下さい。**18番**の作業を行わないと生地に傷が入る恐れがあります。



- 9** **6番**で引き出した生地と、カバーの背面下をファスナーで固定します。
生地をしっかりと引き出して、生地同士を寄せながら慎重に閉じます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。
ファスナーの端をカバーの中に入れ込みます。



- 10** 図のプラスチックパーツの周りに、ヘラ等を使用して生地を入れ込みます。
こちらの作業は**12番**の内容をご確認いただき、作業を行って下さい。



- 11** シートカバーを装着する前の状態です。
背もたれのリクライニングレバーを引くとロックが解除されたことを示す赤色表示が出てきます。
しかし、プラスチックパーツ周りに生地を入れ込むことで、プラスチックパーツがずれて、ロックを解除しても赤色表示が出てこなくなる場合があります。
シートカバーは、純正本来の機能を損なわないように、最大限配慮して設計・製作しておりますが、生地を入れ込むという作業を行う過程で、プラスチックパーツがずれてしまう可能性がございます。ご理解いただけますようお願いいたします。



14P▶

- 12** プラスチックパーツの前側にも生地を入れ込みます。



- 13** 外側の角の部分は、隙間が一番狭くなっています。慎重に生地を入れ込んで下さい。



- 16** カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けますが、**17番**・**18番**の内容を、よくご確認ください。



- 14** プラスチックパーツの周りは図のようになります。
※図の部分は、生地を入れ込んででも引っ掛かるものがないため、引っ張ると生地がはみ出しやすくなっています。生地がはみ出してきた場合は生地を入れ込み直して下さい。



- 17** 運転席側で説明している**8番**の続きになります。
助手席側のファスナーの端を、カバーの中へ入れ込んだ状態です。
ファスナー部分がシートの背面側にあると生地がプラスチックパーツの端に引っかかり、生地に傷が入りやすくなります。



- 15** シート背面のチャイルドシート固定用アンカー周りに、ヘラ等を使用して生地を入れ込みます。
生地を全て入れ込むと右図のようになります。



- 18** ファスナー部分をシートの側面側に寄せると、生地が直接プラスチックパーツの端に引っ掛からない状態になります。
図のようにファスナー部分をシートの側面側に寄せて下さい。
この後、ゆっくりシートを倒す、起こすを繰り返してみて、生地が引っ掛かる感じがいないか確認して下さい。

Step 5

ヘッドレストの装着方法

1 列目ヘッドレスト

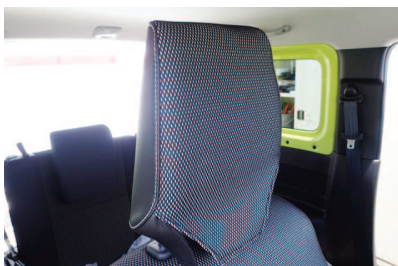
1 列目の装着方法の説明には、シート形状が同じジムニーの画像を使用しています。



- 1** カバーを半分程度裏返して、ヘッドレストの先端まで生地が張るように、カバーをかぶせます。



- 4** ヘッドレスト裏のプラスチックフックを固定します。
プラスチックフックの固定方法は**5番**を参照して下さい。



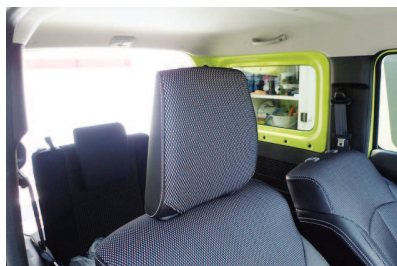
- 2** カバーを均等に引き下げて、ヘッドレスト全体にかぶせます。



- 5** フックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地とともに折り返して挟み込み固定します。



- 3** ヘッドレストをシートから外します。
ヘッドレスト裏側の生地を内へ寄せて、マジックテープを固定します。

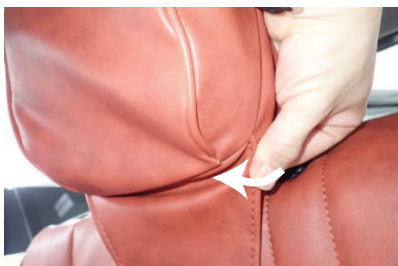


- 6** カバーのラインを整えて、1 列目ヘッドレストの完成です。
※ジムニーとジムニーノマドの1 列目ヘッドレストは、形状は同一ですが、正確には寸法が異なります。

2列目ヘッドレスト



- 1** ヘッドレストの後ろ側からカバーをかぶせます。
ヘッドレストの後ろ側にカバーを引っ掛けるようにかぶせます。後ろ側の生地がしっかり張るようにかぶせて、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



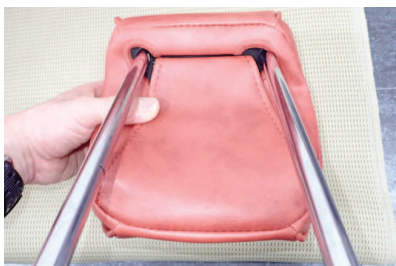
- 2** ヘッドレストの先端側にカバーをかぶせます。この際、生地を無理に引っ張ると、生地が裂ける恐れがありますので、ご注意ください。



- 3** ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 4** ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏側の生地を内へ寄せて、マジックテープを固定します。



- 5** 1列目ヘッドレストと同様に、プラスチックフックを固定します。ヘッドレストの裏側は、図のようになります。

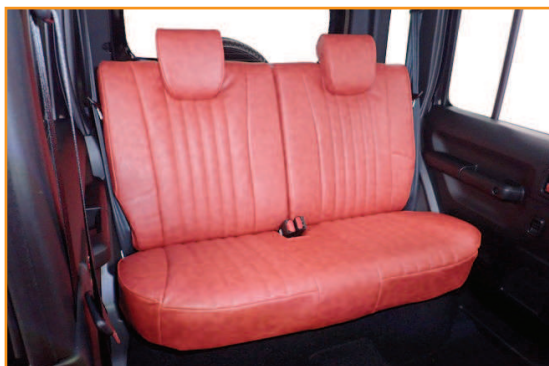


- 6** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

完成図



◀ 1 列目



2 列目 ▶



◀ 2 列目背面

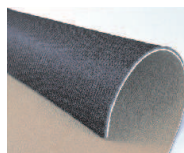


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。
長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなります。
表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816